

—王者復活を目指して—

夏合宿 in 志賀高原(2012.8.16-9.3)

年恒例となっている長野県での夏合宿が、今年も8月16日〜9月3日にかけて行われた。

この合宿は起伏のある野尻湖を皮切りに標高の高い志賀高原、そして再び野尻湖へと場所を移す強化合宿となっており、今回コマスポは2週目の志賀高原での合宿の1日半を密着した。

朝6時前。夏だということを忘れるような15度という肌寒い気温の中、朝練習は始まった。集団走を引っ張って走るのは主将の攪上と駅伝主将の久我。去年は主将、駅伝主将を井上(現トヨタ)が兼任していたが、今年は例年通り二役を分け、チームの再編を図る。

—結束力の夏—

午前練習は3つのチームに分かれてポイント練習を行った。Aチームは1キロを12本、Bチームは1キロを11本、Cチームは24キロ+1キロのメニューをこなす。中には1年生ながらもAチーム入りをしている小山、高月、其田の姿もあり、上級生の練習に食らいつついている様子だった。時折、監督から激しい激が飛び、緊張感のある練習となった。

ジョグを中心に行う自主練習では、部屋ごとで走る選手の姿も見受けられ、チームの仲の良さが練習を通してうかがえた。

3大駅伝3冠。取材中に選手たちから何度も出た言葉だ。今年の目標でもある「結束力」に期待がかかる。

(町田敦子)



朝練習を行う選手たち (撮影：足立夕季)



笑顔で談笑する姿も…

大八木弘明監督

(上半期は)窪田が試合できちんと走れてたと思う。7月のホクレン(ホクレンディスプレイスタンスチャレンジ)では中村がしっかり走ってくれたので、良いのも悪いのもあったが、全体的にはまあまあよかったかなっていうのはあったと思う。(チームの状況は)結束力がたりないっていうのはミーティングで話してはいた。それを選手たちがどう自覚するかだと思う。チームに結束力があるということは、みんながまとまって、良い結果が出ると思う。(主将2人に関しては)攪上は全体をまとめるけど、久我は、色んなことがあって後輩にも厳しいことが言えるような人間だから、まあ二人で一人かなと言うような感じ。二人でチームをまとめようというのに期待している。一人一人じゃなかなか今のうちのチームをまとめていくのに大変かな、と。二人でひとつという気持ちでやらせている。(駅伝について)三冠は当然とりにいかなくちやいけないが、狙うにはそれだけのものを確実にやれるかどうか、やっぱそれを自信に変えて狙えるかどうかだと思う。

とにかく箱根駅伝を優勝しなきゃいけない。箱根駅伝優勝というのを大事にしなからこれからやっていきたい」

